

年に1度のホタルの祭典！

ホタルフェスタ “ほんわかホタルの観賞会”



▲ホタル便の発表をする児童

6月6日、五和町の城河原地域づくり振興会主催の「第14回ホタルフェスタ “ほんわかホタルの観賞会”」が旧城河原小学校で開かれ、1,500人が来場しました。五和小学校の児童が、福岡の病院などへホタルを送る“ホタル便”の取り組みを発表したほか、ホタルの絵コンテストの表彰、お楽しみ抽選会なども行われ、来場者は楽しいひとときを満喫していました。

万一の事態に備える

県水難救済会牛深救難所・市消防団牛深方面隊夏季訓練



▲火災船舶の救助や放水を行うようす

5月31日、二浦町の亀浦港一帯で「県水難救済会牛深救難所・市消防団牛深方面隊夏季訓練」が行われ、同隊の団員など361人が参加しました。火災船舶の消火や負傷者救助訓練、消防署員による「火災現場での安全確保」についての講話などを実施。参加者は消防署員らの指導を受けながら、実践さながらのきびきびとした動きで、訓練に取り組んでいました。

美しく咲き誇る花しょうぶを満喫

「天草花しょうぶ祭り」&食と物産大バザール

5月30日から6月7日まで、西の久保公園（本渡町本戸馬場）で「第11回西の久保公園天草花しょうぶ祭り&食と物産大バザール」が開かれました。期間中2万6千人が訪れ、美しく咲き誇る花しょうぶを満喫。ステージイベントや花しょうぶ園内の木道でのハイヤ踊りのほか、食と物産大バザールも実施され、多くの人でにぎわいました。



▲多くの人出でにぎわった花しょうぶ園



▲ステージで行われた子どもたちのダンス



▲花しょうぶ園内の木道でのハイヤ踊り



▲多くの人でにぎわう「食と物産大バザール」

みんなで仲良くごみ拾い

倉岳町内の子どもたちが清掃活動



▲協力して清掃活動をする子どもたち

倉岳町内の幼稚園・保育園・小中学校・高校の子どもたち301人が6月4日、地元のえびすビーチの清掃活動を行いました。思いやりやボランティア精神、地域を大切にすることを育てようと初めて実施したもので、高校生がリーダーになり、小中学生や園児と協力してごみ拾いや草取りを行いました。子どもたちは、「みんなでごみ拾いをすると楽しい。来年もやりたい」と笑顔で話していました。

今年も上出来！

御所浦で桃の収穫



▲桃の収穫をする井島さん

6月上旬から、御所浦町で桃の収穫が始まりました。同町は市内唯一の桃の産地で、町内6軒の農家が毎年3.5トンを生産。同20日ごろまで地元の農協に出荷され、主に県内のスーパーマーケットで販売されます。9日に収穫を行った井島安一さんは、「県内他産地の同品種と比べて、みずみずしくて糖度も高いのが特徴で、今年も上出来ですよ」と話していました。

山盛りのジャガイモに“ホクホク笑顔”

ジャガジャガ祭



▲バケツに山盛りのジャガイモを運ぶ参加者

天草町大江の特産物であるジャガイモの収穫時期に合わせて5月31日、「第16回ジャガジャガ祭」が大江のお万ヶ池公園一帯で開かれ、市内外から約3,000人が来場しました。メインのジャガイモ掘り取り体験には300人が参加し、バケツに山盛りになるまで収穫していました。また、おさかなカルタやカヌー乗船体験、木工教室、バザーなどが行われ、にぎわいを見せていました。

電気のじょうずな使い方を学ぶ

河浦地区公民館出前講座



▲講座のようす

5月27日、「電気のじょうずな使い方」と題した講座が河浦町の宮野河内地区コミュニティセンターで開かれ、地元住民23人が受講しました。河浦地区公民館が出前講座として開催したもので、九州電力(株)天草営業所の職員が講師となり、国内の発電事情や節電方法などについて説明。「冷蔵庫は詰めすぎず、冷凍庫は詰めると節電になる」などと話され、参加者は熱心に耳を傾けていました。